

## 国内で報告が比較的稀な薬剤耐性菌(カテゴリーB)の変更について

## 1. 現状

国内での報告が比較的稀な薬剤耐性菌(カテゴリーB)については、各医療機関の「提出状況一覧」に「特殊な耐性菌」として警告表示と記載している。

## 2. 課題

2016年には髄液検体分離 *S. pneumoniae* に対する CTX 非感性が 6 株、MEPM 非感性が 11 株報告されており、その後の検証の結果、各々3 株及び 9 株に修正されており、「特殊な耐性菌」としての警告表示が必要である。

また、*S. aureus* に対するバンコマイシンの「I」(4 or 8  $\mu$ g/mL)が 41 株報告された。

## 3. 対処方針(案)

CTX 又は MEPM において「I」及び「R」の髄液検体分離 *S. pneumoniae* 及び VCM において「I」の *S. aureus* をカテゴリーB に追加する。

(参考)

## 国内での報告が比較的稀な薬剤耐性菌(カテゴリーB)

菌名コード	菌名	抗菌薬名	MIC ( $\mu$ g/mL)	SIR	集計対象株数
1201~ 1202	<i>Enterococcus faecalis</i>	VCM	$\geq 16$	耐性*	466
1205~ 1206		TEIC	$\geq 16$	I, R	315
		LZD	$\geq 8$	R	27
1301 1303~1306	<i>Staphylococcus aureus</i>	TEIC	$\geq 16$	I, R	16
		LZD	$\geq 8$	R	66
1311~ 1325	<i>Staphylococcus, coagulase negative (CNS)</i>	VCM	$\geq 8$	I,R	22
4400~ 4403	多剤耐性アシネトバクター属菌(MDRA)	IPM	$\geq 16$	R	397
		MEPM	$\geq 16$		381
		AMK	$\geq 32$	耐性*	746
	右の 3 系統の抗菌薬について、条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp.	CPFX	$\geq 4$	R	集計対象外
		LVFX	$\geq 8$		1694
	GFLX	$\geq 8$		集計対象外	

S,I,R の判定は原則 CLSI2012(M100-S22)に準拠し、\*は感染症発生動向調査基準に準拠する

青字は削除案項目